

<p>全般</p>	<p>安全で快適に暮らせるまち 防災・消防、交通安全 防犯・消費者保護、住宅 公園・緑地、(買い物)の便利)</p>	<p>自然と共生し環境にやさしいまち 森林、水辺環境、生活環境 循環型社会</p>	<p>次代を担う子どもをみんなで育む まち 子育て支援、家庭教育、 学校教育、青少年活動</p>	<p>文化・交流活動がいきづくまち 生涯学習、歴史・文化・芸術 図書館、都市間交流 スポーツ・レクリエーション</p>	<p>みんなが元気で健康なまち 予防・健康づくり 医療体制・市立総合病院経営</p>
<p>・人や土地のもつ熱量というかエネルギー量は絶対変えられる。そこで起こる化学反応みたいな機会が増えれば増えるほどエネルギーは増していく。 ・大人も遊んでいいんだ、どうやって遊ぶのかなということを考えてみると、けっこう遊び場はたくさんある。 ・「大自然に抱かれた人間中心のまち」 ・なんて言っちゃって東京 ・生涯住み続けて、子ども達とかそういう人たちを呼び寄せたくなるくらい青梅自慢できるまちにしたい・働く子育て世代を含めて全部の世代の方が、豊かな自然の中で人間らしく豊かな文化とともに、それから安心して過ごせるまちであってほしい。 ・青梅は純粋にこの地名の響きが綺麗 ・国や都の政策、社会情勢等の整合性を明記すべき。 ・まちひとしごと創生総合戦略も合わせて修正すべき。 ・コンセプトをはっきりすべき。 ・東京にしては買物が不便など、まずは東京のレベルになろう。 ・OmeBlueはとても素敵な色だと思う。SDGsの17の目標はとてもカラフルであり、色があることで、とてもわくわくするものなので、「彩りのある青梅」を目指したい。 ・「多様性」 ・地元にあるこの“のめっこい”という言葉は親しみやすいという人が多いという、青梅らしさ。 ・西は自然、東はとても優れた技術を持っている会社があるのも強み。 ・自分とは違う誰かのことを考えられる、困っている人がいたら行動し助け合える、皆は安心して心から楽しく過ごせるまちづくり ・“東京なのに”と“東京だから”の言葉を加えて、「東京だからと、東京なのにが融合し、新たな価値を創造する青梅」、 ・“東京なのに”と“東京だから”の言葉を加えて、「東京だからと、東京なのにが融合し、新たな価値を創造する青梅」、 「東京だからと、「東京なのに」が織りなす新たな魅力であふれるまち青梅」。東京であることのメリットを享受しながら、東京とは思えない魅力を兼ね備えた青梅らしさを融合して新たな価値や魅力を発信していきたいと思う。 ・楽しんで暮らしていけるまちにしたい。次々トライしなくなる、行ってみたいという夢を持てるまちにしたい。 ・田舎が嫌だと思っている人に対してもアピールしていかなくてはいけないので、今回の将来像、コンセプトとしては、青梅だからこういうことができるというところを膨らませた将来像がいいのではないかと。 ・学び、遊び、働き続ける青梅で生涯住み続けたいと思えるまち ・他市との違いを表す「青梅だからこそできる」というのがコンセプトワードであった方がいい。 ・日常をもっと楽しめるまちであると良い。 ・「理想的な街」の要件からは、「医療」「買い物」「憩いの場」「行政サービス」「交通」これらを「東京」の平均以上になるよう整えつつ、災害に対する強さ、山岳と渓谷美にあふれる豊かな自然を強みとしたまちづくりが必要であると考えます。 ・美しい山と渓谷に抱かれつつ東京に住む</p>	<p>・妙義の方にグランピングに行っただが星があまり見えなく、むしろ青梅の方がみえるなど。だったら青梅にこういう施設があれば皆来てくれるのではないかと ・地域のコミュニティ、安全、防災面から自治会加入率の促進策を。 ・青梅の良さである公園やハイキングコースに市民がかかわりをもってもらいたい。 ・地盤が固く、災害に強い ・青梅市は災害に強いまちとアピールしても良いと思います。 ・市内の「名店」を集約させた新しい「商店街」。 ・新町に、青果店、鮮魚店、精肉屋、ベーカリー、惣菜店、和・洋菓子店など毎日の買い物に必要なお店が並んだ「商店街」。周辺からはマイカーを使わずMaaSによって手軽にアクセス。 ・青梅駅前の仲通りに、昭和の世界観を徹底した「商店街」。料亭と見番も復活。高齢者の憩いの場。 ・スーパーの実店舗にネット注文/即時配達「ダークストア」を併設。 ・ワインの持ち込みを前提としたコストパフォーマンスに優れたレストラン。 ・付加価値の高い野菜や畜産をベースに、ミシュラン星付きレストランが進出。 ・雑木の森による「木陰」の整備された公園。 ・青梅マラソンにちなんだジョギングコース。 ・人口の4割を超える高齢者の憩い場としてのノスタルジックな商店街。 ・標高150m以上、海岸から40km以上で津波・洪水の心配なし ・東日本大震災や関東大震災でも目立った被害なし。 ・東大地震研の調査により、立川断層の活動周期は3～6千年で、最新活動時期は600～700年前であったことが判明。「立川断層、地震切迫せず 首都直下起こす可能性」(2014.7.28 日本経済新聞) ・電線地中化とマンションへの地中引き込みで台風による停電を回避。 ・マンションへの非常用発電機設置による給水ポンプの稼働。 ・防犯活動、防火防災活動、交通安全推進活動の維持、活性化。</p>	<p>・強みは豊かな美しい自然 ・文化というのは自然に育まれるもの、自然の美しさというのは文化の源になると痛感した大事にしていってほしい、またずっとアピールしていけるところ。【再掲】 ・「環境に優しい魅力的なまち」 ・美しい景観とそれを生かした記憶に残る体験、これが対外的に発信できる青梅の強み ・有り余る自然をどう活かしているのかがポイントになるのでは。 ・子どもたちにも青梅の良さを知ってもらおう機会創出" ・青梅を象徴する御岳山や自然から受け継がれてきた青梅の文化、芸術を取り入れてほしい。 ・青梅の地域資源として里山、どこにでも山が見えるのが素晴らしい。 ・美しい自然や美しい川と思うが、具体的にどこをどうするというのがない。 ・市民がまず青梅の自然の良さを実感しなければ伝えられないのでは。 ・東京の中では自然が多い(他県にはもと自然豊かなところがある) ・都心と同じような住環境のところもあると同時に、豊かな自然もあるのは、青梅の強み(関係人口創出) ・2030年度二酸化炭素排出量の削減目標達成に向けた「地域脱炭素ロードマップ」の推進 ・設置可能な全ての住宅と事業所で自家消費型太陽光発電と蓄電池を導入 ・学校や公共施設でのオンサイトPPA型太陽光発電の導入と電力の相互融通 ・全ての公用車がEV化、乗用車も半数近くがEV化され、市役所、公共施設、事業所、戸建住宅、集合住宅にEV充電設備を整備 ・住宅・建築物の省エネ性能等の向上の進展 ・コンパクト・プラス・ネットワーク等による脱炭素型まちづくり</p>	<p>・「青梅学」を組み立てていく。 ・青梅を学ぶような、そういう機会を学校教育の特色としてつくっていく。どこの学校でも青梅のものを1つ取り上げるくらいの教育課程があってもよいのでは ・青梅の学校を支援する組織を立ち上げていく時期でもある ・校舎一体型、施設一体型の小中一貫教育に取り組む時期 ・青梅型学校教育とは何かというあたりをしっかりと考えていかなければいけない ・小学校中学校をつなげて、しっかり9年間教育を青梅で構築したらどうか ・一緒に地域づくりをするためにはどういった学力がいるのだろうと、そういう意味での高い学力も考えながらやれたらよい ・子どもたちが都心に負けない学力を ・遊び心にあふれるまち ・学び、遊び、働き続ける青梅で生涯住み続けたいと思えるまち ・子どもの権利条約を条例にしてほしい ・今後児童が減少し、学校施設の統廃合の問題が出てくる。 ・教育に元気を！ ・今の子どもは非認知能力が不足している。芸術など圧倒的なものに触れることが大切である。 ・青梅の自然とか文化に親しむ機会を通して郷土愛を育ててもらいたい。 ・多世代交流ができる活動拠点 ・活動できる人材を増やしたほうがよい。 ・子どもの意見を直接聞こうとされているのがすばらしいこと(子ども議会) ・青梅の子どもたちに強みを持たせるような重点教育施策が必要。子どもたちと地域をつなげるような取り組みをこれからも進めていかなければならない。 ・公立小中学校の選択制導入。 ・自分たちの住んでいるところをお国自慢みたいに誇りを持って自慢し合えるようなところまでいけば、それが郷土愛につながる。 ・充実した習熟度別指導。 ・23区に比べ遜色のない学力と進学先。 ・麴町中学校の成果を応用した学校運営。 ・「学校アプリ」を基盤とした教師・生徒・保護者の双方向コミュニケーション。 (東京都教育委員会でアプリとプラットフォームを用意) ・GIGAスクール環境によるベストプラクティスを共有した授業。 ・小学校・中学校・市民センターの施設一体化。 ・西海岸の名門大学の日本校を誘致。</p>	<p>・自分たちの住んでいるところをお国自慢みたいに誇りを持って自慢し合えるようなところまでいけば、それが郷土愛につながる。 【再掲】 ・サスティナブルで、100年経っても変わらぬ価値を生み出したい。 ・文化というのは自然に育まれるもの、自然の美しさというのは文化の源になると痛感した大事にしていってほしい、またずっとアピールしていけるところ。 ・青梅マラソンを切り口に、健康を強く意識できて心も体も健康になる、まちづくり ・「多様性が尊重され一人ひとりが輝けるまち」「多様性を尊重し、一人ひとりが大切にされるまち」 ・人口減少によって地域行事が消滅している。小さな民衆文化の良さを伝える、そういった理解のある方が少ない。 ・人権としての文化を追記。(心育む市民文化の推進、多様な文化交流) ・地域の伝統や文化について学ぶ機会というのが明記されていてよいと思う。 ・青梅市独特の文化であるお祭り文化を観光ではなく文化の項目に入れてもよい。 ・文化とか歴史とか技術の伝承とか普遍的なもの革新的なものが共存できることが可能であってほしい ・お祭りを通じての歴史との触れ合い、あるいは人との触れ合い ・商業面、産業面でポッパルトとの交流があるとよい。 ・例えば、明星大学にコンテナを置いて倉庫として使ってもらい代わりに、その劇団の人たちがそこで公演をする。そこに子どもや高齢者が関わるのはどうか。</p>	<p>・健康でなければ動けないし、人とも会えないし。そのためにも健康という一つの価値というものが皆さんの中にストンと入っていったらいい。 ・まち全体として歩けるまち青梅になってほしい。 ・「歩いて楽しい健やかなまち」 ・青梅マラソンを切り口に、健康強く意識できて心も体も健康になる、まちづくり【再掲】 ・青梅の良さである公園やハイキングコースに市民がかかわりをもってもらいたい。【再掲】 ・感染症対策が充実 人口当たりの感染者数が都内最小レベル。ワクチン接種の進捗率、人口当たりの病床数が都内トップレベル。 ・人口の4割が高齢者となる社会の安心医療 -予防医療：全市民にかかりつけ医、最先端の健診(全ゲノム健診、マイクロRNA解析、…)。 →新町クリニックを最先端予防医療センターに! -救急医療:高齢者世帯に家庭版ナースコール。脳・心臓分野の高度救命救急。</p>

福祉が充実したまち 地域福祉、高齢者福祉 障害者福祉、ひとり親福祉 生活保護、社会保障	活気ある産業で雇用が生まれるまち 農業・林業、工業 商業、新産業、観光、雇用	都市基盤が整う魅力あるまち 都市形成、道路、公共交通 下水道、河川・砂防、都市景観	みんなが参画し協働するまち 市民参画・協働、人権・平和 男女平等参画	持続的な行財政運営ができるまち 行政運営、情報推進・活用 公共施設保全・整備 健全財政	その他
<p>・買い物難民への対策を。</p> <p>・高齢者と子どもなど、人と人のつながり、新しいつながりの創出。</p> <p>・「多様性が尊重され一人ひとりが輝けるまち」「多様性を尊重し、一人ひとりが大切にされるまち」【再掲】</p> <p>・多世代交流ができる活動拠点や、活動できる人材を増やしたほうがよい。【再掲】</p> <p>・IoT やロボットを駆使した充実の介護サービス。</p>	<p>・産業が豊か。住んで働いてもらう。</p> <p>・地元で働くことを選んでもらえるような、そういったまちづくりをしたい。</p> <p>・世代を超えての触れ合いが商店街があるとできるのでは</p> <p>・青梅に戻ってきてでも働く場がない</p> <p>・青梅にも観光施設が多くあるので回遊できるようにしたい。</p> <p>・青梅市独特の文化であるお祭り文化を観光ではなく文化の項目に入れてもよい。【再掲】</p> <p>・小さな日常にスポットを当てて、またはそういう日常を語れる人を地域に育てて普通の日常を観光するのが良い。</p> <p>・「青梅・奥多摩」といった時に奥多摩の方が強い。</p> <p>・商業面、産業面でポッパルトとの交流があるとよい。【再掲】</p> <p>・青梅に戻ってきてでも、働きやすく活躍できる場を創出できると良い</p> <p>・自然を生かした観光資源の活用（グランピング等）で人の足をとめる政策があるとよい。</p> <p>・青梅IC 周辺地区の「シリコンバレー化」</p> <p>・生産と物流が一体となった施設に、半導体製造装置の部品加工事業者が集結。</p> <p>・サプライチェーンの便利から、半導体メーカー、半導体製造装置メーカーも進出。</p> <p>・地盤の良さを評価し、GAFA のアジア拠点や西海岸の名門大学の日本校が立地。</p> <p>・横田基地からのアクセスの良さから、メジャーリーグが球場を設置。</p> <p>・日本酒、ワサビ、タオルなどの地場産業の商圏拡大、商品の裾野拡大により雇用が増大。</p> <p>・市民をターゲットにしたレジャーや観光の事業展開。市民からの発信につられて来訪者が増大。</p> <p>・都心部の企業へのテレワークを支援し、通勤しないことで地元消費が拡大。</p> <p>・御岳山にトレッキング、登山の入門コースを常設。初心者必須コースに。</p> <p>・御岳神社の山岳信仰(お犬様)の更なる発展。</p> <p>・御岳溪谷のカヌースラローム、ラフティング。</p> <p>・溪谷沿いのロングトレイル整備。</p> <p>・眺めのいいカフェを配置。</p> <p>・JR 御岳駅からケーブルカー滝本駅までの遊歩道（御岳神社の参詣道）整備。</p> <p>・青梅IC 地区発、霞丘陵経由、岩蔵温泉へのトレッキングコース整備。</p> <p>・永山公園のトレッキングコース整備。</p>	<p>・交通の利便の良さがまず1つあります。一方で市内を移動する時にすごく不便。</p> <p>・都心への交通の便も決して悪くはない。もうちょっと直行が増えるといい。</p> <p>・リモートワークが増えてきた今、ちょうどよい距離感。</p> <p>・買い物難民への対策を。</p> <p>・スマートシティとかのスマートで、Society5.0やインターネットとかを前提とした情報化、物流、医療インフラなどが実現すると良い</p> <p>・MaaS による手軽な市内移動。</p> <p>・タクシーアプリによる事前の発地/到着地指定と料金の自動精算。Uber 特区。</p> <p>・横田基地にビジネス航空が就航。圏央道から分岐して高速道路でアクセス。</p>	<p>・まちの人たちがつながり合うことによって、「ソーシャル・キャピタル」（社会関係資本）という人のつながりとか信頼とかネットワークというものが強化される。</p> <p>・自治会や子ども会加入率の低下により世間が身近ではなくなっている。</p> <p>・元気でクリエイティブな方たちが担い手になり、そういう方たちを支えながらお店とかを開きやすくするとお年寄りの方が来ることでお話生まれ、子どもがいらっしゃる方も来ることでお店の方がお子さんに声かけをすることで独りぼっちにならない</p> <p>・行政・議会・市民の3者が同じ目的を目指して、市民参画協働、情報共有をしながら作るまちづくり"</p> <p>高齢者と子どもなど、人と人のつながり、新しいつながりの創出</p> <p>・人権としての文化を追記（心育む市民文化の推進、多様な文化交流）【再掲】</p> <p>・転入者の自治会に対するマイナスイメージがあり、イメージを変える必要がある。</p> <p>・シェアする。中の人たちでシェアすること、外にいる人たちともシェアすることが人のつながりを生み出す</p> <p>・お祭りを通じての歴史との触れ合い、あるいは人との触れ合い</p> <p>【再掲】</p> <p>・世代を超えての触れ合いが商店街があるとできるのでは【再掲】</p> <p>・子どもたちと地域をつなげるような取り組みをこれからも進めていかなければならない【再掲】</p> <p>・地域のつながりを今以上に増やし、温かい地域、人のエネルギーが感じられる地域になってほしい。</p>	<p>・小学校の校舎、中学校の校舎ではなくて、それに市民の活動の場になるような、そういう施設も含めながら、義務教育学校として作り上げていく。そしてそこに社会施設も併用するような、そういう学校づくりを始めたらどうか</p> <p>・SNS 等を活用した情報発信力の向上。</p> <p>・スマートシティとかのスマートで、Society5.0やインターネットとかを前提とした情報化、物流、医療インフラなどが実現すると良い</p> <p>【再掲】</p> <p>・財政にもとづく重点化をこの10年の中で考える。</p> <p>・デジタルを駆使した親切で、迅速で、手厚い行政サービス。</p> <p>・紙を使わない行政手続き。在宅手続きも可能。</p> <p>・「デジタル回覧板」をプラットフォームとした双方向コミュニケーション。</p> <p>・議会、審議会等の運営のデジタル化の深耕。</p> <p>・自治会や地域活動に参加するとポイントが加算される「地域ポイント」の運用。</p>	<p>・もっと地域と関わり合いをもち、地域を知ってほしい。</p> <p>演繹法や帰納法などもあるので、まずキーワードを出してそれからキーワードは何だろうとやっていく。</p> <p>・「青梅駅」を行政や観光なり市の中心に移したらどうか。</p> <p>・「多様性が尊重され一人ひとりが輝けるまち」「多様性を尊重し、一人ひとりが大切にされるまち」【再掲】</p> <p>・多世代交流ができる活動拠点や、活動できる人材を増やしたほうがよい。</p>